

2020年12月13日 主日礼拝

司式：岩井明長老

奏楽：岩井真

\*讃美歌は声を出さないで1節を目で追いましょう。

《神のみ前に近づく》

讃美歌 242-1~3節 (主を待ち望むアドヴェント)

序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 244-1節 (キリストは明日おいでになる)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、あなたの御降誕の喜びを声高らかに祝うことが出来ない私たちの現状を憐れんでください。かつて自由に集い、自由に讃美していた頃がいかに恵み深いものであったかを教えられます。どうか、自分勝手に生きて来た私たちの罪を赦してください。思いも新たに、あなたの到来を待ち望む者となりますように。主よ、特に、この礼拝に来たくても、来られないでおられる方々を守り、祝福で満たしてください。アドヴェントのこの時、「神、われらとともにおられる」との確信に生きる者でありますように。

「それでもなお、わたしは慈しみを彼から

取り去らず、わたしの真実を

むなしくすることはない。

契約を破ることをせず、わたしの唇から出た

言葉を変えることはない。」(詩篇 89:34、35)

\*しばらく黙祷の時をもちます

主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

本日の集会 礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後：・壮年/婦人/ダビデ各会・幼稚園  
理事会・聖歌隊練習

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

\*司式者がローマ書5章6~9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

ダニエル書7章 23~28節 (旧p1393)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 13章 1~10節 (新p466)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 543 1-2節 (キリストの前に)

説教

『黙示録④ — けだものと戦うこと!』

祝福の祈り

武田真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 462-1~3節 (はてしも知れぬ)

献金

奉仕者：岡本富 岡本由

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌 92-1節 (主よ、わたしたちの主よ)

祝祷

武田真治 牧師

後奏

J.S.バッハ いま来たりませ異邦人の  
救い主よ

報告と退場

受付：飯田 吉岡 礼拝：齋藤長老

お茶の会 当分の間休会です。

〈先週の説教から〉

『黙示録④— 投げ落とされたサタン』

ヨブ記 1:6~11 ヨハネの黙示録 12:7~17

ヨハネ黙示録だけでなく、聖書はあたかも当たり前のように悪魔とかサタンとか天使が登場して来ます。今日の箇所にも「悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、(天から)投げ落とされた。」とありますように。

もともとサタンという言葉は、旧約聖書のヘブライ語で(サーターン=非難する者、訴える者)から来ています。ヨブ記1章で、天でヨブのことを神様に批判し、罵る者として登場しているように、旧約では、私たち人間の隠れた罪やごまかして来た悪行を天上ですべて暴露し、私たちを悪人として裁かせようとする存在でした。それがイエス様の登場とその十字架による罪の赦し、復活と昇天とによって、もはや天でのサタンの罪の告発や暴露が効果を発揮しないことになったのでした。そのことを今日の箇所で「神のメシアの権威が現れた、神の御前で彼らを告発する者が、投げ落とされた」「そして、もはや(天での)居場所がなくなった」と言われています。天から投げ落とされたということは、永遠の存在ではなくなり、滅びる者となったということの意味します。確かに、サタンは地上に落とされ、地上で暗躍するものとなったのですが、その力も生命もいずれ滅んでしまう存在、すでに戦いに敗れた敗残兵でしかないのです、ただ、この悪魔が戦う相手は、地上で「イエスの証しを守りとおしている者たち」なのだと。まさに天でイエス様に負けた腹いせに、信仰者を悪へと誘い掛け、不信仰へ導こうとしているのだと。聖書はとても現実的だと思います。まさにこの世では実際にサタンとの戦いがあるからです。この戦いを甘く見てはいけません。